

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	水の森公園キャンプ場	
2 指定管理者	公益財団法人仙台市公園緑地協会	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和3年度 14,930人（前年度比 76.6%） ・令和2年度 19,498人 ・令和元年度 24,404人	
	《事業》 ・キャンプ場管理業務、公園管理業務、イベントの企画・運営、環境学習事業への支援	
5 収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 20,555千円（20,258千円） ・その他市が負担した費用 0千円（0千円）	
	《収入》 ・使用料収入 2,842千円（2,778千円） ・その他収入 0千円（0千円）	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート ・イベント参加者アンケート ・そのほかの手法による意見交換会の実施（水の森公園運営業議会を組織している）	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的を十分に理解し、管理運営に反映させている。	24/24
II 施設の運営管理体制	火災や自然災害・事故等に対応できるよう、マニュアルの整備や訓練を行うなど、安全な運営管理体制を構築している。	24/24
III 施設・設備の維持管理	芝生の整備をこまめに実施し、適切な維持管理に努めている。キャンプ場の休園期間中に木製品や施設の塗り替えを行い、施設や設備の長寿命化にも取り組んでいる。	24/24
IV サービスの質の向上	管理棟内には、公園内でみられる生き物等について、わかりやすく工夫がされた展示物が並び、利用者の関心を引くんでいる。また、Free Wi-Fiを設置するなどサービスの向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	緑の活動団地と協力し、ベンチを作成するなど新たな取り組みを行っている。また、新型コロナウイルス感染対策により自主事業の参加人数が制限されたが、参加希望者がより多く参加できるように実施回数を増やすなどの対応をし、自主事業を通じ施設の利用促進に努めた。	5/5

三 評価総括

《指定管理者（公益財団法人仙台市公園緑地協会）による自己評価》

令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、休場期間やデイキャンプサイトを制限付きで供用した期間があり、全面開場は1ヶ月間程度となった。そのため、キャンプ場全体の利用人数は昨年に比べ減少したが、テントサイトについては利用件数増となっており、人気であった。ホームページやブログを活用して現在の施設情報、休場の案内や利用制限の内容などをタイムリーに発信し、利用者の要望に応えることができた。施設の管理運営については事業計画書及び仕様書に基づき適切に行っている。利用者に施設を快適に利用していただける様、職員によるこまめな芝刈りや丁寧な清掃などの維持管理に努めた。また、管理区域外の公園内で発生した倒木の処理や来園者からの苦情・要望にも積極的に対応した。市民団体との協働においては、水の森公園を中心に活動している緑の活動団体などと供に運営する「水の森公園運営協議会」の事務局を務め、各団体との連絡調整や活動支援を行い市民協働による管理運営を充実させた。新たな取り組みとして、団体と協働で木製ベンチを3基制作し、公園内に設置したところ、大変好評であった。自主事業においては、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、初心者向けの親子デイキャンプ教室（2回）、ハロウィンキャンペーン、白鳥観察会と焚火イベントなどを実施した。また、3月の特別開園を自主事業として実施したところ、連日サイトの利用があり、好評であった。水の森公園の自然の豊かさを感じてもらいつつ、利用促進に繋がるイベントを開催できた。さらに施設の利便性向上のため、管理棟内のネット環境を整え、Free Wi-Fiを設置した。今後のインバウンド対策として活用していく。

今後も自然豊かな水の森公園とキャンプ場を安全で快適に利用いただけるように、管理運営とサービスの提供に取り組んでいく。

《施設設置者（仙台市）による評価》

安全で快適な施設の利用のため、施設の適切な維持管理と事故や災害に備えた体制構築を行っており、利用者との評価も高い。アンケート結果などを生かし、利用者のニーズに応えるよう工夫も重ねている。また、NPO団体などとの連携にも努め、積極的に新しい取り組みを行っている。

総合評価

S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：建設局百年の杜推進部公園管理課